

## No.11「長い時間、勉強する習慣を身に着けよう」

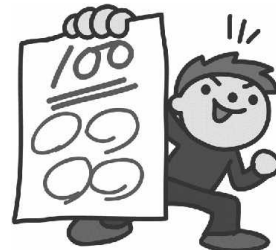
Q 1 : やはり勉強は、長い時間やったほうがよいのですか。

A : (1)気持ちを集中して、又、小間切れの時間をうまく利用して、短時間でも、勉強はできます。

(2)ただし、授業の予習や復習、学んだことをしっかり身に着けるには、長めの時間の勉強が必要です。

(3)また、定期試験や実力試験、模擬試験、入学試験や検定試験など、大切な試験を受けるときには、まとまった、長い時間をかけての勉強が求められます。

(4)このように、定期試験で100点満点、模擬試験で第1志望校の合格に耐えられる偏差値をとったり、トップ校・難関校を含む第1志望校や検定試験、英語検定、漢字検定、数学・算数検定など「3大検定」や、国家試験などを受験し、見事、合格を果たすには、「ハードな長時間自己学習」を行うことが欠かせません。



Q 2 : この「ハードな長時間自己学習」というのは何ですか。

A : (1)「ものごとを成し遂げる」には、「高い志」をもち、その「高い志」、目的を達成するために、具体的な「取り組み」をすることが必要です。

(2)その「取り組み」の1つとして、まずは、自分は「受験生であると自覚」すること、第1志望校に合格するために、「勉強の仕方」を工夫したり、「勉強の時間の確保」をしたりしなければなりません。

(3)①「トップ校・難関校」を第1志望校としたり、「現在の自分の実力では合格することがかなり難しい学校」や、「受験倍率が高い学校」を自分の力で決めた「第1志望校」とした場合には、真剣そのもの、かなり熱心な「長い時間自学自習」をすることが求められます。

②これをまとめて、「ハードな長時間自己学習」と、開倫塾では呼んでいます。

③このことばを、開倫塾の塾生、特に受験生の皆様の中に、今年も「合言葉」にして、トップ校・難関校を含む第1志望校合格を果たして頂きたいと希望します。

— ちょっと一休み：受験における「合言葉」の効用— (Concentration コンセントレーション)

(1)私が高校入試を受けたときのお話です。

受験直前に「Concentration(集中)」という英語を知り、これだと思い、答案用紙が配られる前に、「Concentration, Concentration, Concentration」と呪文のように唱えたら妙に心が落ち着き、スーと解答用紙に向かえました。

(2)又、あるとき「定期試験では、教科書をスミからスミまでよく理解し、スミからスミまですべて定着・身に着けよう」と教室でお話したら、「スミからスミ

- ミまで」を「合言葉」にして、何教科も 100 点をとった方がたくさん出ました。
- (3)このように、自分で気が付いたり、友達や先生、先輩などから教えて頂いた「何気ない一言」を「合言葉」にし、「ものごとに対処」し、「勉強に励む」と、思わぬ成果が生まれます。
- (4)この〈2020 年 3 月塾長メッセージ〉では、皆様が実行すれば「即」成果が出る、「勉強の仕方」や勉強についての基本的な「考え方」を、少しずつお伝えします。一つでもよいですから、参考にして、自分にとっての「合言葉」にしてくださいね。
- (5)今回、合言葉にして頂きたいのは「ハードな長時間自己学習」です。

Q 3 : では、お聞きします。「ハードな自己学習」として、どのくらいの期間、1 日にどのくらいの時間勉強すればよいのですか。

- A : (1)「知的な生活」からスタートして、「勉強中心の生活」に慣れ親しむことです。知的な生活の第 1 は「読書」です。「受験生としての自覚」をもち、トップ校・難関校を含む第 1 志望校に合格を果たしたいのなら、簡単な本は 1 ~ 2 回、大切な本は時間をじっくりかけ、間を空けて 5 ~ 6 回は読むことをおすすめします。
- (2)「自分は~という学校に合格を果たしたい」と決めた日、つまり、「第 1 志望校を決定した日」から、受験直前(受験前日)までの期間、眠る時間、生活に必要な不可欠な時間、通学に要する時間以外は、受験勉強に集中するようにおすすめします。
- (3)特に、入試直前の数か月間は、「寝る時間以外は勉強」を「合言葉」に「ハードな長時間自己学習」に励むことです。新聞を読んだり、読書をする 것도勉強です。勉強時間に入れてください。
- (4)よく考えれば、この 3 月 2 日(月)からの学校休校の期間は、この「ハードな長時間自己学習」をすることのできる「絶好の機会」です。あまり無理をせず、少しずつでも OK ですから、「チャレンジ」しましょう。

Q 4 : 4 月に入り、学校が始まったらどうしたらよいのですか。

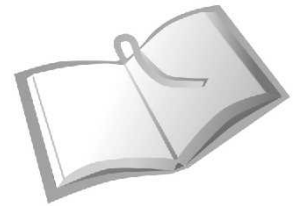
- A : (1)学校への「通学時間」中も、創意工夫して行うことです。
- (2)「授業時間前」には、その教科の教科書や「授業ノート」を徹底的に復習し、「スミからスミまで」を合言葉に、全部覚えてしまいましょう。そして「スミからスミまで」、すべて「定着」してしまいましょう。
- (3)「授業中は、授業に集中」。「学校の授業内容も入試の試験範囲」ですから、授業内容は授業中にすべて「理解」し、できれば「授業内容は授業中にすべて定着・身に着ける」ことを心掛けましょう。このように、学校の授業中にも、受験勉強はできます。



Q5 : 開倫塾で、この「ハードな長時間自己学習」を行ってもよいのですか。

A : (1)もちろんです。

(2)開倫塾でも先生方の勤務時間中は「自己学習スペース」で「自学自習」「自己学習」ができます。開倫塾にも「辞書・新聞・お気に入りの本を1冊」、必ず持参し、「読解力」を身に付けてください。辞書・新聞・読書を活用して読解力を身に付ける時間も、勉強時間に入れてくださいね。



(3)但(ただ)し、開倫塾で自己学習をする場合には、必ず事前に、校長先生の許可を得てください。

- ①体調が悪い場合や体温が  $37.5^{\circ}$  以上ある場合、御家庭にインフルエンザや新型コロナウイルスに感染した方がいる場合などには、来塾は、お控えください。
- ②「マスク」を必ず着用、「手洗い」、「うがい」を徹底してください。
- ③感染防止のため同じ部屋に他の塾生がいる場合には、かなり離れて着席して頂きます。
- ④「換気」を頻繁に行います。
- ⑤以上を予め、御理解の上、御協力ください。

— <学校の図書館を大いに活用しよう> —

1.(1)「学校の図書館」に毎日1回以上行き、

(2)「新聞」を毎日30分以上読む。

(3)「読書」を毎日1時間以上行う。

(4)①意味のわからない語句を図書館の辞書を用いて調べ、

②調べたことは「意味調べノート」や「単語カード」に書き写し、

③その語句の意味がうんなるほどとよく「理解」できたら、

④その場で「音読練習」「書き取り練習」を繰り返し、

⑤すべて「覚える」「定着させる」ことです。

2.(1)このように学校に行ったら「学校図書館」に毎日1回以上行き、「辞書」を活用し、「新聞」を読み、「読書」に励むこと。そして、すべての教科の勉強や入試に不可欠な「読解力」を確実に身に着けることです。

(2)「辞書」「新聞」「読書」を活用して、トップ校・難関校を含む第1志望校の入試に耐えられる十分な「読解力」を身に着けることは、「受験勉強」そのものです。「読解力を身に着けることなくして学力向上なし」「読解力を身に着けることなくして受験勉強なし」と断言できます。

(3)「辞書を用い、意味調べ」をし、「新聞を毎日30分以上読む」「読書を1時間以上行う」ことで、入試に必要な「読解力」を身に着けるのに「学校図書館」ほどよいところはありません。



3.(1)学校が休みの日には、地域の「公共図書館」に必ず出かけ、同じことをすることをすすめます。

(2)但し、現在(2020年3月2日(月)以降)は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため学校が休校になっているので、学校図書館が利用できません。また、地域の公共図書館も利用制限がなされているので、これらの取り組みは、「自宅」で行わざるをえません。

Q6：開倫塾の「自己学習スペース」で自学自習、「ハードな長時間自己学習」をしてもよいのですか。

A：(1)もちろんOKです。

(2)但し、校長先生が許可した場合に限り。又、校長先生の指示に従う場合に限り。

(3)特に2020年3月2日(月)から、新型コロナウイルス感染防止のため、学校が休校になっていますので、特に細心の注意が必要です。

\*Q5のA(私の回答)と、開倫塾の校長先生の指示を必ずお守りください。

〈今は、ハードな長時間自己学習を行う絶好の時期〉

1. ①よく考えれば、学校が休校になり、部活動も休止となっているこの3月2日(月)からの期間は、「ハードな長時間自己学習」を行う「絶好」の期間です。  
②学校が再開されるのは、早くても春休みの期間が終わってから、場合によってはゴールデン・ウィーク明けからかと思われれます。  
③それまでの数十日間、「ハードな長時間自己学習」を行い、「トップ校・難関校を含む第1志望校合格」を果たすための「受験勉強」を行ってください。
2. ①朝起きてから、午前中はめいっぱい自宅で学習。  
②昼食後は自宅で学習。  
③午後は、気分転換を兼ねて、開倫塾の「自己学習スペース」で、しばらくの間、「自学自習」。わからないことがあれば、開倫塾の先生に質問。  
④このように、「勉強中心」の毎日を送り、4月又は5月からの新学年の授業に臨むことをおすすめします。
3. ①小学校4・5・6年生で私立中学校入試・中高一貫校入試を受験する塾生  
②中学2・3年生で、トップ校・難関校を含む第1志望校合格を果たそうと決めている塾生  
③高校1・2・3年生で、トップ校・難関校を含む大学合格、高度な専門学校合格を本気で考えている塾生  
④以上の塾生の皆様は、3月2日(月)から学校の休校が終わるまでの期間を「受験勉強」のスタート期間と考え、健康に十分注意しながら、勉強中心の毎日を送りましょう。
4. 今年の3月から、来年、又は2年後の1月2月3月に行われる入学試験の前日まで、「勉強中心」の毎日を送れば、必ずトップ校・難関校を含む第1志望校合格が果たせます。



Q7：開倫塾の「自己学習スペース」では、1日にどのくらいの時間勉強すればよいのですか。

A：(1)2020年の1月～3月に行われた入学試験でも、多くの塾生の皆様が、入試直前の数か月間、「開倫塾の自己学習スペース」で「ハードな長時間自己学習」を「実行してトップ校・難関校を含む第1志望校合格」を果たしました。

(2)開倫塾の創業者で、開倫塾全校舎の最高責任者である塾長として、私が受験生を含むすべての塾生の皆様に「訴え」続けていることは…

①「夕方、学校から家に帰り、しばらく休んだら開倫塾に来塾。

②開倫塾の自己学習スペースで夕刻から夜10時30分(東京は10時)まで

③開倫塾の校長先生の許可を受け、先生方の指示通り、長時間自己学習に励むこと」です。

(3)つまり、「夕刻から夜10時30分(東京は10時)まで開倫塾の校長先生の許可を得て、先生方の指示通り長時間自己学習する」ことが、開倫塾の「自己学習スペース」での「長時間自己学習」の「勉強時間」です。

①例えば、夕方4時30分から10時30分まで行えば、合計で6時間となります。(東京なら4時30分から10時までなら5時間30分となります)

②夕方5時から10時30分までなら5時間30分となります。(東京なら5時から10時までなら5時間となります)

③学校が早く終わる日は、開倫塾の先生の出勤時間から来塾してもOKです。

(4)1時間に1回は休み時間があります。軽食はそのときにお取りください。

＜「自己学習スペース」を利用するときの「注意」を必ずお守りください＞

①開倫塾に、飲み物や軽食を持参してもOKです。ただし、軽食をとっていいのは、休み時間だけです。

②自分で出したペットボトルや軽食の容器などすべての「ゴミ」は、開倫塾の「ゴミ箱」に捨てずに、「必ず」全部自宅に持ち帰り、自宅で処分してください。

③「自己学習スペース」の机の上においていいのは、教材やノート、筆記用具のみです。

「ペットボトル」「軽食」「スマホ」「携帯」等は、すべてカバンの中に入れておき、必要なときだけ、使用してください。

④「自己学習スペース」で「自学自習中」に「スマホ」「携帯」「ゲーム」を利用することは「絶対禁止」です。

⑤「おしゃべり」や「歩き回る」も禁止です。指定された机・椅子から離れることなく「勉強に集中」してください。

⑥但し、トイレは決してがまんせず、必要なときに利用してください。



Q 8 : 開倫塾の「自己学習スペース」では、何をどのように夕方から夜10時30分(東京は10時)まで勉強すればよいのですか。

A : (1)持参するものは次の3つです。

①「辞書」「昨日の新聞」「お気に入りの本1冊」

②必ず、この3点セットは、毎日持参してください。

③ 50分間は「新聞」と「お気に入りの本」を読み、「読解力」を身に着けましょう。

(2)①昨日の新聞を必ず持参してください。

②「新聞を毎日30分以上読む」ことが、「読解力」を身に着ける一番の近道です。

③「自己学習スペース」でも、来塾したら、最初の10～20分は、新聞を読むこと。

(3)①「お気に入りの本」を1冊必ず持参してください。

②「読書を1日1時間以上すること」も「読解力」を身に着ける一番の方法です。

③「新聞」を10～20分読み終えたら、「自己学習スペース」で、毎日「お気に入りの本」を40～50分読むことで、読解力を身に着けましょう。

(4)「新聞」を毎日10～20分読むことと、「お気に入りの本」を毎日30～40分読むことが最初の50分間の過ごし方です。



〈開倫塾の「自己学習スペース」で受験勉強として辞書・新聞・読書を活用して読解力を身に着けよう〉

(1)①家庭で勉強する場合も、各教科の勉強を始める前に、新聞を10～20分読み、そのあと、お気に入りの本を30～40分読み、「読解力を身に着ける取り組み」「訓練」「練習」をすることです。

②これはスポーツをする前の、「準備運動」や「柔軟体操」と全く同じです。

③「ランニング」や「キャッチボール」、「柔道なら受け身」の練習と、全く同じです。

(2)①学校の勉強や受験勉強には、「読解力」が欠かせません。いくら、各教科の勉強をしても読解力が足りないと成績は伸びません。キャッチボールもできない人が野球をやるのと同じです。受け身のできない人が柔道をやるのと同じです。「読解力」が身に着いていないと勉強や入試どころではありません。

②この「読解力」を身に着ける最良、最短、最も効果的なのが「辞書」「新聞」「読書」の活用です。

③ですから、「長時間自己学習」の中で1時間(50分)を用いて「新聞を40～50分毎日読む」「お気に入りの本を30～40分読む」ことを、声を大きくして創業以来「おすすめ」しているのです。

- (3)①小 6、中 3、高 3 生の塾生の皆様は、受験勉強として、必ず毎日「新聞」と「お気に入りの本」を最低 50 分間は「本気」で読み、「受験に必要な読解力」を「受験勉強」として身に付けてください。1 年間行えば必ず 60 以上の偏差値がとれます。
- ②小 1～小 5、中 1～中 2、高 1～高 2 の「非受験学年」の塾生の皆様こそ、「辞書」「新聞」「読書」を活用して、受験学年になるまでにじっくり、本格的な「読解力」を身に付けてください。
- ③辞書をよく利用し、新聞を毎日 30 分以上よく読み、読書を毎日 1 時間以上した人で、学校成績がよくない人や業者模試で偏差値のよくない人を私は知りません。
- (4)学校成績を大幅アップさせ、偏差値 60～65 以上を確実にとりたかったら「辞書」をよく引き、知っている「ことばの数」を増やし、「新聞」をよく読み、「読書」に励み、「読解力」を身に付けてくださいね。



Q 9 : なるほど。自己学習スペース利用の最初の50分間は新聞と読書ですね。次の3～4時間はどうしたらよいのですか。

A : (1)①ここからは、普通の受験勉強です。

②毎日の勉強には大雑把で OK ですから、計画が大切です。

③今日は、どの教科とどの教科をどのくらいの時間勉強するかを、大雑把で OK ですから、まずは考えてノートにメモしてください。

(2)あとは、北関東は夜 10 時 30 分(東京は 10 時)まで、ひたすら机に向かうこと。

(3)家で勉強する場合も全く同じです。

(4)この「ハードな長時間自己学習」を今から受験前日まで行えば、トップ校・難関校を含む第 1 志望校は必ず合格します。どのように高い倍率の入試も突破できます。

(5)まして、小 5、中 2、高 2 から 2 年間、この「ハードな長時間自己学習」を行えば、入学できない学校はありません。

(6)①受験勉強こそ「自己責任」「自助努力」「自分の未来は自分で切り開く」ことが大切です。

②受験勉強は、自分との闘いです。

③「自立心」(自分自身の力で立つ)と、「自律心」(自分で決めたことは、自分の行動を律しながらやり遂げる)の 2 つが大事です。



Q10：最後に一言どうぞ。

A：(1)この3月から「本格的な受験勉強」をスタートすれば、どんなトップ校・難関校・高倍率な学校でも、入学は果たせます。

①新型コロナウイルス感染拡大防止のために、安倍首相の要請で、2020年3月2日(月)から学校が休校になり、部活動等の全面休止になっている期間中は、自宅で過ごす時間が1日の大半になっています。学校の休校、部活動等の休止の期間は少なくとも春休みが終わり、新学期が始まるまで続くと思われます。

②考えようによっては、来春の入試に向けて受験勉強を本格的にスタートする絶好のチャンスです。

③「ハードな長時間自己学習」をスタートする「絶好のチャンス」です。

(2)①普通の年なら11月、12月ころから、1月・2月・3月の入学試験前日までに行う入試直前の本格的な受験勉強を、今年は1年弱前の3月からスタートできる「絶好のチャンス」ともいえます。

②「ピンチをチャンスに」「災い転じて福となす」のことわざにある通り、1日中自宅に居て、1日中自由自在に勉強できるこの3月から、来春の入試に向けての本格的な受験勉強をスタートすることをおすすめします。

③午前中4時間、午後4時間、夜4時間、机に向かい続ければ、合計12時間勉強することができます。この1日12時間の勉強時間は、私立中学校入試、中高一貫校入試、高校入試、大学入試などすべての入試や、司法試験、医師国家試験、公認会計士や税理士等の国家試験直前の平均勉強時間といえます。

(3)この3月2日(月)からの学校休校、部活動休止の期間を、「心配で、不安だ」と嘆き、悲しんで過ごすよりは、「自分の未来は自分で切り開く」の明るい前向きな気持ちで、「受験勉強の本格的なスタートの時期」と考えましょう。

そして、「ハードな長時間自己学習」を、家庭と開倫塾の「自己学習スペース」を組み合わせせて行ってください。

